

令和5年度後期(秋学期・冬学期) 成績評価方法【教育学部】

R5.12.24時点

科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 (※詳細についてはシラバスを確認すること)
1 (1年生) 教育学・教育心理学概説Ⅱ	金3	鈴木・古賀	期末レポート、出席
2 (秋学期) 発達心理学Ⅱ演習(発達心理学)	月1・2	實藤 和佳子	・最終レポート ・担当会での発表 ・授業中の講義への参加度
3 国際教育制度論	月2	花井 渉	・小レポート(20%) ・レポート(50%) ・授業への貢献度(30%)
4 教育課程・カリキュラム論演習	月3	田上 哲	・定期試験、レポート、発表(◎) ・授業への貢献度、出席(○)
5 教育学説論	月3	鈴木 篤	・最終レポート(20点) ・発表原稿の出来具合、発表の準備状況、発表での他者とのやりとりなどについて、 授業担当者(教員)と本人、他の受講生からの評価を合算して主たる評価とします (80点)。 ・出席回数が全体の3分の2に満たない者には、単位を認めません。
6 社会心理学Ⅰ演習(社会・集団・家族心理学)	月3	池田 浩	・最終レポート(30%) ・プレゼンテーション(50%) ・発表に対する発言や質問など(20%)
7 カウンセリング論講義Ⅳ(感情・人格心理学)	月3	佐々木 玲仁	・期末レポート
8 社会心理学講義Ⅲ(産業・組織心理学)	月4	池田 浩	・定期試験(50%) ・課題に応じた小レポート(30%)。 ・各授業の理解を確認するため「フィードバックシート」への記入を求める。(20%)
9 (秋学期) Democracy and Education Ⅱ	月4・5	陳 思聡	・course essay(英語1,000wordsまたは日本語2,000字)(50%) ・授業への貢献度(50%)
10 (冬学期) Education and politics Ⅱ	月4・5	陳 思聡	・course essay(英語1,500wordsまたは日本語3,000字)(50%) ・授業への貢献度(50%)
11 心理療法論Ⅰ演習(感情・人格心理学)	月5	金子 周平	・前半のワークへのコミットメントや共有された体験内容(40%) ・後半の発表の内容を評価(60%)
12 発達援助学演習(障害者・障害児心理学)	月5	小澤 永治	・最終レポート ・心理アセスメント・心理支援技法についての学習に基づく発言・質問を求める。 ・演習のため、出席と積極的な参加を求める。
13 教育環境学研究法	火2	木下 寛子	・15回の授業で課すミニ実習のレポート及び最終レポート ・実習、および文献講読に関する発表 ・ディスカッションへの参加、およびコメントシート ・出席
14 教育社会史	火2	江口 潔	・小レポート(30%) ・期末レポート(70%) ・11回以上出席することを単位取得の前提条件とする。
15 モティベーション理論演習(教育・学校心理学)	火2	伊藤 崇達	・最終レポート(レポートは生成系AIを使わず執筆すること) ・発表や質疑への関与の度合いによって評価します。
16 心理演習	火2	古賀・小澤・金子	・授業の終盤に支援計画と体験の振り返りをレポートとして課す。 ・授業中の参加態度や質問・発言・ディスカッションを評価する。
17 生涯発達学演習(心理演習)	火2	古賀 聡	・授業の終盤に支援計画と体験の振り返りをレポートとして課す。 ・授業中の参加態度や質問・発言・ディスカッションを評価する。

令和5年度後期(秋学期・冬学期) 成績評価方法【教育学部】

R5.12.24時点

科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 (※詳細についてはシラバスを確認すること)
18 教育文化史演習	火3	野々村 淑子	・担当箇所の発表とレジュメを考慮する ・授業への貢献度、出席を考慮する
19 マスコミュニケーション I	火3	富澤 奏子	・遅刻・欠席による減点はありませんが、出席回数が全体の3分の2に満たない場合は、単位を認めません(遅刻等は欠席として扱います。) ・授業への貢献度、出席を考慮する
20 環境行動学演習(社会・集団・家族心理学)	火3	杉山 高志	・各回の授業で課すコメントシート(60%) ・最終回の授業での発表内容の評価(40%) ・全講義の3分の1以上欠席した場合は単位を取得できない。
21 発達相談学講義Ⅳ(障害者・障害児心理学)	火3	遠矢 浩一	・定期試験(試験内容はMoodleにて明示) ・不定期に小課題を課す。
22 教育哲学概論 I	火4	藤田 雄飛	・レポート ・授業への貢献度
23 教育実践学 I 演習	火4	元兼 正浩	・期末レポート ・授業へのコミットメント度合い
24 アクセシビリティ心理学講義Ⅰ(障害者・障害児心理学)	火4	田中 真理	・小テスト ・最終レポート(最終回の授業でアナウンス)
25 教育環境人間論	火5	木下 寛子	・小レポート ・最終の課題として小論文を課す。 ・授業への積極的参加 ・毎回、Moodle上でその日の授業に関わる疑問やコメントなどを提出する。
26 高等教育論演習	火5	小湊 卓夫	授業への参加度(質問やディスカッションへの積極的参加)6割と複数回のレポートの作成4割によって評価する。
27 精神病理学演習(精神疾患とその治療)	火5	黒木 俊秀	・各授業の終わりに課題を提示し、Moodle上に提示するGoogle Formsへ解答する。 ・精神科医療における心理臨床の課題について調査・分析を行い、レポートを作成する。 ・3分の2以上の出席の成績評価のための前提とする。
28 心理学研究法	水1・2	池田 浩	・各教員が課すレポート課題を提出してください(100%) ・全ての授業に出席することが必要です。
29 心理学実験	水2・3	實藤 和佳子	・発表会での発表 ・平素の成績
30 障害児童学演習(障害者・障害児心理学)	木1	小澤 永治	・もくもくグループへの参加態度によって成績評価を行います。 ・セラピーセッション、カンファレンスへの理由ない欠席は減点の対象とします。
31 教育社会学概論Ⅰ	木2	木村 拓也	・Google Formを活用し、自身の学習状況を講義担当者に報告することが授業時間外学習として毎回求められる。 ・授業参加(ミニッツレポート)25%、秋学期末レポート25%、期末読書レポート50%。
32 生涯学習概論	木2	岡 幸江	・毎回の授業において、ミニレポートの提出 ・最終レポート ・基本的には出席点・ミニレポート・最終レポートで評価するが、最終レポートに大きな比率をおく。
33 国際教育論Ⅱ演習	木2	花井 涉	・毎回の小レポート:20% ・各担当章に関する発表:50% ・授業への貢献度:30%
34 比較教育学概論Ⅱ	木3	竹熊 尚夫	・出席30%(小レポート含む) ・レポート70%

令和5年度後期(秋学期・冬学期) 成績評価方法【教育学部】

R5.12.24時点

科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 (※詳細についてはシラバスを確認すること)
35 教育法社会学	木3	元兼 正浩	毎回のレポート(重視します)+学期末試験(2月1日)
36 社会教育施設論演習	木3	岡 幸江	毎回の小レポート、期末レポート
37 教育統計学	木3	木村 拓也	・授業の理解を問う中間・期末レポートが課される。 ・授業参加20%、中間レポート40%、期末テスト40%とする。 中間レポートを提出し、期末テストを受験しないと単位を認定しない。
38 児童心理学演習(発達心理学)	木3	橋彌 和秀	・期末レポート(課題は演習内で告知します) ・個人あるいはグループでの発表 ・授業内での積極的なコメント・質問 発表およびコメントを求めるため、毎回の出席が前提です。
39 批判的教育学演習	木4	藤田 雄飛	・レポート、授業への貢献度、出席
40 教育と職業演習	木4	木村 拓也	インターンシップの報告レポートの執筆が求められる。
41 コミュニケーション論演習(社会・集団・家族心理学)	木4	山口 裕幸	・各トピックに対する自己見解のレポート(6回)の内容評価 ・各トピックの集団討論での自己見解の発表の内容評価 ・出席(Moodleでカウントして加味します)
42 教育文化史	木5	野々村 淑子	・授業毎回のミニツツペーパー(Google Form)の内容 ・レポート ・到達目標の観点に添った評価。
43 障害児発達心理学演習(障害者・障害児心理学)	木5	野村 れいか	・毎回の講義終了後にその日の演習内容に関する質問、感想を記入し提出。提出をもって出席とする(60%) ・グループでテーマについて調べ、発表してもらう。資料作成、プレゼンテーション、質疑応答(40%)
44 教育とコミュニケーションデザイン	金2	田北 雅裕	・出席(10%)、授業への貢献度(10%)、ミニツツペーパー(20%)、レポート2~3回(70%)の割合で成績評価します。
45 教育環境行動学演習	金3	木下 寛子	・最終的にグループでひとつの研究報告を提出する(80%) ・観察やインタビューをもとにした記録・記述、報告が必要になる。積極的なコミットメントを期待する(10%) ・基本的にグループでの取り組みとなるため出席は必ずするようにしてください(10%)
46 教育調査法Ⅱ演習	金3	木村 拓也	・報告書(50%)、発表(20%)、グループワークへの貢献度(30%)をもとに評価する。